

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行
千葉県君津農業事務所

編集
千葉県君津農業事務所
改良普及課



マルシェで販売された商品の一部
(米、キャベツ、サツマイモ、加工品など)



マルシェでの販売の様子



販売促進に関する研修会(9月17日)



農業大学校での農業機械研修(7月5日)

多様な人材が活躍する農業へ！
「マルシェ及び「きみつアグリ塾」を通じた取組」

農林水産業従事者数は過去40年間で大きく減少しており、女性や若手農業者等の多様な人材が活躍できる環境づくりが求められています。

そこで、君津農業事務所では、農業分野で活躍する方に向けて、様々な取組を行っています。10月28日には、君津地域の女性農業者組織「きみつ農業女子ネットワーク」と起業家組織の「きみつ4市起業家ネット」による「君津合同庁舎マルシェ」の開催を支援しました。君津合同庁舎の県職員を対象に、農産物や加工品の実践的販売を行った結果、事前予約を含め、出品された君津地域の特産品を多くの職員が購入しました。また、マルシェの後は地域の若手農業者との交流も行い、農業者組織での活動や農産物加工について情報交換を行いました。

他にも、君津農業事務所では若手女性農業者を対象に「きみつアグリ塾」と題し、女性農業者が農業経営や地域農業に参加しやすくなるよう、農業経営に関する知識・技術について学ぶ研修会を開催しています。

君津農業事務所では引き続き、多様な人材の能力を活かした農業経営の発展を目指し、取り組みます。

各団体、研修会についてのお知らせは4面を御覧ください。
(楠本)

湿地性カラー

新品種がデビュー

愛称は「Brilliant・Bell」

千葉県は全国有数のカラーの産地で、特に君津市は豊富な湧水を利用した生産が盛んです。県では、湿地性カラー新品種、愛称「Brilliant（ブリアント）・Bell（ベル）」を開発しました。君津市の産地では、令和3年秋から販売が開始されました。

【品種の特徴】

花は、ややクリームがかかった白色で、病気に強く、収穫本数は多く。従来の品種より小ぶりで茎が細いので、フラワーアレンジメントやブーケに使いやすい形が特徴です。コロナ禍では家庭で花を楽しむ消費者が増えているので、小ぶりのカラーを飾ってもらう機会も増えて、カラーを身近に感じてもらうと期待されています。



【デビューイベントで披露】

令和3年11月8日に、県主催のデビューイベントが開催されました。千葉県知事、君津市長、生産者及び小売業者等約60人が参加し、開発秘話や新しいニーズへの期待など、「Brilliant・Bell」へのそれぞれの想いが語られました。また「Brilliant・Bell」を使用したフラワーアレンジメントが制作され、「茎が細くて花が小さく、他の花と合わせやすい。」と今まで湿地性カラーではかなわなかった使い方の感想も伝えられました。



PRに活用するため、「千葉県PRマスコットキャラクターチーバくん」の新しいデザインも作成されました。



千葉県PRマスコットキャラクターチーバくん

【現地の取組】

デビューに向けて約3千株の苗が、栽培希望者22名に配付され、令和2年秋に一般栽培が開始されました。苗は各生産者のほ場に定植され、生育は順調に進み、令和3年11月に出荷を迎えました。

「Brilliant・Bell」は従来の品種と形状が異なるため、市場担当者を交えた検討を行い、ニーズに合った専用の出荷規格を作成しました。

君津農業事務所はカラー生産者に向けて、栽培技術や販売促進の支援を行っています。例えば、お客様により良い



出荷規格を検討する様子



ほ場で咲いている「Brilliant・Bell」

花を届けるため、採花後の花の開き方や、枯れずに楽しめる期間を検証し、高品質の「Brilliant・Bell」を出荷するための指導をしました。

今後、産地では「Brilliant・Bell」の栽培面積を拡大し、出荷量が増える見込みなので、より多くの方に楽しんで頂けるようになります。「Brilliant・Bell」、さらにはカラーが多くの人に知ってもらえるよう、生産者やJAと協力し、またカラーのブランド産地として持続的に発展できるよう、支援を行っていきます。

(北澤)

耕畜連携による 水田の有効活用

君津地域における
新規需要米生産・利用の取組

【新規需要米の取組】

主食用米の需要減少と米価下落に伴い、水田を活用した新規需要米としての飼料生産の取組が、重要視されています。一方、地域の畜産農家で飼料の多くを輸入に頼っている経営は、輸入飼料価格高騰により多大な影響を受けています。

このような中、君津地域では、茎葉を含めた稲の全体を収穫し、サイレージ化した稲WCS（ホールクロップサイレージ）と、玄米を圧ぺんや破碎して利用する飼料用米が盛んに生産され、稲WCSは酪農家と肉牛農家で、飼料用米は養鶏農家で利用されています。米価が下落する中、WCS用稲及び飼料用米生産の取組は、耕種農家の経営改善に繋がると期待されています。

なお、君津地域における新規需要米の取組面積は、平成26年産ではWCS用稲が約50ha、飼料用米が約129haでしたが、令和3年産ではWCS用稲が約118ha、飼料用米が約472haまで拡大しています。



稲WCSを食べる乳牛

【稲WCS生産・利用の取組】

稲WCSの生産にあたっては、水稻農家が、は種からほ場での栽培管理を行い、稲WCS生産組織や肉牛農家が、籾が硬くならないよう出穂から糊熟期に、専用の収穫機で収穫からサイレージ調整を行います。

農事組合法人袖ヶ浦WCSでは、主に袖ヶ浦市で稲WCSを生産し、袖ヶ浦市内の8戸の酪農家が利用しています。令和3年の取組面積は、約60haとなっています。令和3年に10a当たりの収量が多い水稻農家ほど収入が増えるように、稲WCSの買取料金を設

定したことで、主食用品種よりも収量が多い「たちあやか」「リーフスター」といった専用品種の作付面積が拡大し、主食用品種を含めた10a当たりの収量は約3tから約3.5tに増加しました。酪農家からは、稲WCSの利用量を増やしたいという需要もあり、今後も面積の拡大が期待されます。

農地所有適格法人株式会社百姓王は、約25haで稲WCSを生産しており、富津市と袖ヶ浦市の6戸の酪農家が利用しています。生産した稲WCSのロール1つ1つに刈取日と生産ほ場の管理番号等を記入することで、利用者



ラッピングされた稲WCS



刈取から形成まで行う専用収穫機

からの問合せにも、迅速に対応できるように工夫しています。稲WCSを利用してはいる酪農家からは、「丁寧に生産されていて、ロスが少ない。」「自給飼料を作る作業負担がなく、ありがたい。」といった声が聞かれ、生産者と利用者との信頼関係が築かれています。今後も、耕畜連携による水田の有効活用が期待される中、農業事務所では、地域に適した飼料用米とWCS用稲の品種選定や栽培技術の向上を支援するとともに、新規需要米を活用した飼料費の低減による畜産農家の経営安定に取り組んでいきます。

(加藤)

新しい農業士認証者紹介

令和3年度は、管内からは新たに農業士2名が認証されました。農業士は、地域農業の担い手のリーダーとして、農業青年の相談相手となり、共に地域を盛り上げる役割が期待されます。

今年度、新規に認証された方を紹介します。

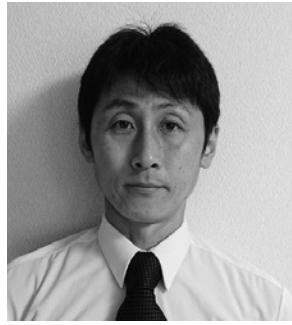
☆井内 崇郎氏(袖ヶ浦市)



井内氏

内房地区JA酪農協議会会長や君津4市4Hクラブ連合会会長等を歴任されています。近年地域内では獣害等により飼料作物栽培を行わない酪農家も多い中で、長年飼料用トウモロコシを栽培及び給与するとともに、地域内で生産された稲WCSを購入利用して飼料費低減に努めています。また、健康で丈夫な成牛となるように、生まれたての子牛の段階から事故や病気を未然に防ぐよう適切な飼養管理を心掛け、長命連産につなげています。

☆奥野 達也氏(袖ヶ浦市)



奥野氏

君津4市4Hクラブ連合会会長等を歴任されています。自給飼料として、飼料用トウモロコシと稲WCSを利用して飼料用トウモロコシは、個人で栽培し、高機能収穫機械を活用して、品質の高いサイレージを生産しています。

また、搾乳牛1頭当たりの年間平均乳量も地域の平均より高く、牛群検定の結果を基に、個体ごとの能力を把握し、優良精液の活用による牛群改良に努めています。

(近森)

農業経営体育成 セミナー生を募集!

君津農業事務所では、新規就農した45歳程度までの方々を対象に毎年、セミナーを開催しています。

当セミナーでは、生産技術や経営に関する知識習得や先進農家への視察などを通して実践的な経営管理の手法を学ぶ場となっています。基本、専門、総合コースの順に3年間で段階的に学び、農業経営者としての資質向上を図ります。



基本研修の座学

また、自らの経営に関する課題解決の演習や、セミナーを通じた仲間づくりも行っていきます。

研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインによる開催や、消毒や検温等の対策を行い安全に配慮して実施しています。



パイプハウス設営の実習



先輩農業者との意見交換会

参加費は無料ですが、会場までの交通費、飲食代等は自己負担となります。

募集は、例年5月上旬まで行っていますので、御興味のある方は農業事務所までお問合せください。(鈴木)

会員・受講生募集

○きみつ農業女子ネットワーク
君津地域の女性農業者組織で、会員は13名です。会員同士の交流を目的に、定例会や視察研修を開催し、若手からベテランの方々まで和気あいあいと活動しています。君津4市の女性農業者であればなたでも会員になります。

○きみつ4市起業家ネット
農産物加工に取り組む18経営体で構成される団体です。加工・販売に関する研修会その他、イベントへの出店を行っています。農産物加工に興味のある方、仲間づくりをしたい方を募集しています。

○きみつアグリ塾

女性農業者向けの研修会です。令和3年度は農業機械や販売促進について研修会を行いました。次年度も引き続き開催予定です。(奥寺・楠本)

御興味のある方は、お気軽に農業事務所まで御連絡ください